

## 新年のご挨拶

理事長 小山 眞

明けましておめでとうございます。

本年も利用者みなさんと共に社会福祉法人プライムのスタッフ一同は心も新たに、日々努力を重ねて、一人でも多くの方が福祉にご理解下さるお店・企業さまへ就労が出来て、社会に復帰することで利用者さんはもとより、ご家族の方も共に喜び、社会の一員として役立つことを目標に一年間共に頑張ります。

幸いにして国や行政において、障害者に対して色々な面で支援することで、結果、就労の向上に力を入れて下さっておりますので私たちも期待に答えなければと一層の努力を考えております。

今年、当法人では井出町に「こうめ」を新築中で三月末に完成しだいで移転をして、木の香る新しい施設で利用者の方とスタッフの方が明るく働くことができます。又、「こうめ」と「アロマ」が就労継続支援B型事業へ移行できることを願っております。

「アロマ」は現在高松町の旧高崎地域医療センターを医師会のご協力のもとお借りしております。これには運営面で大変助かり、心から感謝しております。尚、一層の福祉へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

本年も昨年と同じような楽しい旅行や、イベントや農作業と収穫の喜びなど楽しみながら元気に一年間みんなして歩みたいと考えております。

本年も行政の国や県、高崎市のご指導の元、福祉関係の方々にお世話になりながら、福祉にご理解のある近隣の方々、お店や企業さまのご協力とご指導を頂きながら利用者さんみんなして眞の喜びを味わえますよう、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 今までありがとうございました



かつて家族会（ポプラの会）が運営主体で活動していたころ、小規模作業所の補助金は年間 300 万円程度でした。群馬町に作業所は作りたいが家賃を捻出することもままならず、今より精神障害者への偏見が根強く、貸してくれるところもありませんでした。

困っている時に手を貸してくださったのが、故福島幹夫さんでした。

おかげで平成 11 年 11 月現在の地域活動支援センターこうめは小規模作業所としてスタートしました。

それから 15 年が過ぎました。東日本大震災の後はその耐震性にも配慮が必要になりました。自立支援障害者総合支援法に、障害者を包含する施策が間に大きく変わってきました。

地域活動支援センターこうめは、平成 27 年 4 月 1 日障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業 B）に移行、新しい施設でスタートします。

しかしこれまで大家の福島さんや支えていただいたことに感謝して、ますます皆さまに喜んでいただけるような支援をしていきたいと思ひます。



こうめを皆さまのこころの片隅に残していただけると幸いです。



# プライムの新しい施設 建設日記

丸山 尚子

平成26年8月5日、すまいる京目で入札が行われ、「株式会社清水」による建築が決定しました。

9月10日、小山理事長による地鎮祭が行われ、「清水」の野口さん、神戸さん、「プライム」から山本、「こうめ」の倉澤、丸山が出席しました。

理事長が心をこめて土地の氏神様を鎮め、土地を利用させてもらうことの許しをいただき工事の安全、新しい施設の繁栄を祈ってくださいました。

写真のように、たくさんのお供え物が奉げられています。



塩をまいて



理事長が用意してくださった祭壇



祝詞をあげています



笏（しゃく）と烏帽子



お供え物はりっぱな鯛、大根や人参の地面のもの、乾物、海のもの、果物、酒、米、塩でした。大根は味噌汁になり、果物は利用者さんと美味しく頂きました。

9月末から工事が始まり、10月中旬には3メートルぐらいの深い穴が掘られ浄化槽が据え付けられました。

11月初め、柱が立ち始めるとあっという間に屋根があがり建物が出現してびっくり！

サッシも入り12月からは現場で打ち合わせです。このころはまだ2階へ上の階段がなくおっかなびっくりはしごであがっていました。



エアコンが取り付けられ、電気関係や換気、水道の配管が天井をたくさん通っています。



写真撮らせてください！無理なお願いにも「にっこり」ありがとうございました。



利用者さんの玄関（新幹線側）が見えています。

1階は来年度から予定している作業の為の水道設備が整った作業室と静養室、事務室、2階は請負仕事のための作業室、食堂、台所、和室、相談室になります。どの部屋も日当たりがよくとても気持ちの良い建物です。今は一つしかないトイレも三か所に増えました。また2階建のためエレベーターを設置し車椅子の方も利用できます。現在、外壁がほとんど張り終わり、いよいよ工事も大詰めです。それに合わせて相談支援事業所シンシアによる利用者さんの移行準備も始まり、来年度からの施設オープンへみんな希望をふくらませています。これまでの皆様のご支援に心から感謝しています。今後ともどうぞよろしく願いいたします



外階段をピンク色に塗装中。初めて来所される方にもすぐわかります。

## 楽しいヤドカリさん

信沢 美恵子

アロマは現在高松町にて開所しています。

ここでアロマの歴史をひもとくことにしましょう。平成14年4月高崎椿町にてポプラの会の家族会のもと3番目の作業所として開所しました。人数から始まり仕事も徐々に増えてきたとき仕事先より会社内に椿町スペースを作っていただきました。毎日、職員は利用者を乗せ仕事をする楽しい日々でした。平成19年4月作業所から地域活動支援センターに移行し前をアロマと名付けました。そして人数が増えていき移転を考えます。平成20年9月高松町に高崎市旧福祉会館別館を借りることができました。ですがここは新しい高崎総合保健センターが出来るまでということでしたので次の場所を探さなければなりません。狭いながらも楽しい場所も2年でした。次の移転先がなかなか決まらず、やっと平成22年9月に宮元町の大手前ハイツへと引っ越します。ここは窓も大きく広いワンルームでした。窓からは1本のタブの木が見えて利用者さん達はよく窓際に座っていました。そしてまたまた大きな引っ越しを考えることになります。平成24年12月高松町の旧地域医療センターへ移りました。今アロマは引っ越し後2年が過ぎたところです。これから毎日仕事をしていく中、楽しみを見つけ、人との関わりを大切に接していけたらなぁと…。これからも利用者さん達をあげたりさげたり(笑)もちあげて力を付けてそっと包めたらと心より思います。



市  
少  
し  
名  
成

## シンシア



昨年4月、相談支援事業所シンシアが開所しました。その経緯について少し説明します。相談支援事業所の業務内容は、サービス利用計画の作成です。従来、サービス利用計画の対象は、それをしなければならない人に限られていました。しかし法改正により、平成27年度から、障害福祉サービスを利用するすべての障害者にその対象が拡大されました。利用者の方達が地域で自立して安心して暮

山 口 良 子

らしていけるように、というのがその理由です。

利用者の方達が障害福祉サービスを利用するためには、市町村が交付する受給者証が必要になります。その受給者証はサービス利用計画が提出されないと交付されません。今までは限られた人しか必要なかったのに、すべての人が計画を作成しなければならなくなったわけですからその数は膨大で、どの相談支援事業所も大変な数をこなさなければなりません。けれど、相談支援事業所の数も限りがあります。面接から始まるサービス利用計画の作成はすぐに出来るものではなく、提出しても受給者証が交付されるのにさらに日数を要します。そうすると利用者の方達は、受給者証が交付されるまで通所出来ないということになってしまいます。これを危惧した管理者が、社会福祉法人プライムに通所する利用者の方達が待機することなく通所できるようにと立ち上げたのがシンシアです。こうして態勢だけはしっかり整ったのですが、問題は相談支援専門員となったこの私です。研修は受けたものの、実際シンシアが始まってみると一人ひとりケースが異なるため、あれこれ考えているとあっという間に時間が過ぎてしまいます。でも作成中はその利用者の方の顔が浮かび(なぜかいつも笑顔です)一緒に作っている気分になります。プライベートなことを人に話すのは勇気がいると思います。思い出したくないことや、話したくないこともあるでしょう。それをきちんと話してくれる利用者の方達に感謝しています。毎日は何となく過ぎてしまいがちですが、週計画では自分が1週間をどのように過ごしているか、利用計画では自分が必要としていることや目標が具体的にわかると思います。これらを参考にして、今までのことを振り返ったり、何かに気付いて次へのステップになれば嬉しく思います。

シンシアという語は「誠実な」とか「心からの」という意味です。利用者の方達の笑顔と勇気を支えに、より豊かな生活が送れるよう、誠意をもってお手伝いしていきたいといます。

ジョブコーチ支援を始め三か月が経ちました。障害者にとって就職に結びつけるために大切なのは、一般的にはあたりまえのことなのですが、社会人としてのマナーやルールを習得していく必要がある事だと思います。実際に支援業務をスタートしてから感じたことで、施設ではなんとなく見過ごしていた事でしたが、企業内で就労し続けるには特に大切だと感じています。

社会人として働くためには守らなければならない基本的なマナーとルールとは、

1. 返事やあいさつをする。
2. 報告や連絡をする。
3. 身だしなみを整える。
4. 勝手に休まない。

これらのことをしっかりできるように、支援しています。

また、就労が継続するよう支援していると、毎日の規則正しい生活が継続できていることから体の調子が良く元気に過ごせるようになっていくことがわかってきました。再度訪問したときに対象者の元気な様子を見ることができるとは楽しみでもあります。

スタート時は、支援対象者も初対面、企業側と訪問先も初対応、業務内容も様々で、さらに群馬県内ではありますが、わかりにくい場所への指定時刻までの移動など、戸惑うことが多かったのですが、三か月が過ぎ、自分なりにやり方がわかって来たようです。

支援対象の方々には、自分の意思を企業側に伝えきれない面も多いと感じます。不安を抱えた状況で、企業側にうまく意思を伝えられない場合には、精神的な援助が必要であり、そうした場面での橋渡しの存在になるなど、きめ細かな支援をめざしていきたいと思っています。

支援者も企業もさまざまであり、ジョブコーチとしての障害者の方々や企業の方々に対する対応等、学ぶべきことが多いですが、ひとつひとつの支援業務をいい経験として、今後の業務に活かしていきたいと思っています。

## すまいる京目

倉澤 照子

昨年4月からすまいる京目で就労支援員として働き始めました。厨房内での弁当作りの仕事や施設での仕事は私にとって初めてのことで毎日が失敗の連続でしたが利用者、職員の方々に支えられて過ごしています。

厨房での仕作業は協力して行わないと決められた時間内に終わりませんが日によっては少ない人数で弁当作りをしなければならない事もあります。少人数の時、利用者の方々の負担が大きくなりますが黙々と作業をする姿を見て頑張らなくてはと思います。

就労移行は2年間という長いようで短い期間に就労を目指しています。就労をしたい気持ちがあっても体調面が安定していない、就労意欲があまりない等就労以前の課題と思われる事をクリアして就労する難しさを日々感じています。就職先の職種が厨房の仕事でなくても忍

耐力・協調性等は就職先で生かされることと思っています。

就労移行で頑張っている人達が就職が決まり、笑顔が見られるように支援できたらと思っています。



## 出会いと別れ

橋本 雄一

早いもので、すまいる柴に異動となってから2年が過ぎ、様々な出会いと別れを経験することとなりました。退職された方、卒業された方、理由は様々ですが共に柴崎で同じ時間を共有するなかで、本当にたくさんの大切な教えを頂いています。

昨年に愛犬を喪い辛い時もありました。しかし柴崎の仲間と共に過ごすうちに、悲しみは薄れていきました。人の

のこころを癒すのは、やはり人です。



今年もたくさんの出会い

と別れがあると思いますが、前向きに頑張っていきたいと思います。

私がプライムにお世話になって10年余になります。高崎に住み始めて17年余たちますから、その半分以上をこの法人で働かせていただいていることになります。

入ったばかりの頃は、半日のパートで右も左もわからないながら、皆さんと作業したり行事を楽しんだりしました。ホワイトデーに男性利用者とカレーを作ったり、群馬の森へ美術鑑賞に出かけたりもしました。

平成23年4月、新体系に移行し、利用者29名、職員11名で、京目・柴崎において新規スタートしました。私はサービス管理責任者として、主に京目で仕事をするようになりました。京目では、就労移行支援（以下移行）で宅配弁当の製造・販売を始め、就労継続B型（以下B型）でも、複数の作業を並行して進めるようになりました。法人内の弁当40食余を昼までに届けるのも大変だったこと、毎日駐車場の草取りをしたことを思い出します。



現在、すまいるの利用者は42名、職員は16名になりました。平成23年からいる利用者は5名、職員は7名になります。移行の利用者は全員が替わりました。利用者の平均年齢は43才。4才ほど上がりました。宅配弁当は外注を含めて1日120食程を作り、B型でも施設外就労を始め、体育館や、乗馬クラブ等の清掃に出かけるようになりました。工賃も少しずつですが増額しています。新しい職員が増え、自発的な発想で取り組んでいる様子は、利用者にも良い刺激を与え活気が生まれています。法人全体

での東京へのバスハイクや、利用者を巻き込んでのクリスマスの準備などはその良い例です。反面、利用者が増え、性格や背景も様々で支援に難しさを感じることも増えています。人数が増えても、小回りのきいた、一人一人に寄り添った関わりをしていきたいと思っています。もちろん、“すまいる”で！

## ありがとうメッセージ

### 「NPO 法人三松会」さま

### 「本田技研労働組合」さま

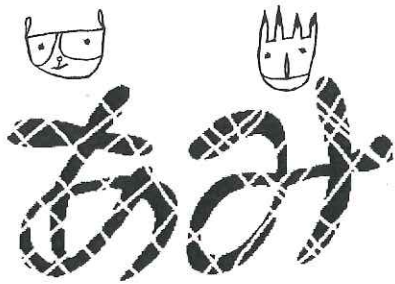
孤独死の方の葬祭支援、後見人活動やフードバンク活動を行っているNPO法人です。当法人は平成22年からフードバンク活動でお世話になっています。京目で受け付けて各施設に配布を行っています。

平成27年1月9日 本田技研労働組合さまより、地域活動支援センターこうめに「作業用いす」15脚（30万円相当）をいただきました。座面がメッシュで夏涼しく座りやすい椅子です。新しい施設で使わせていただきます。



### 「イオン高崎黄色いレシートキャンペーン」

イオン高崎では毎月11日に黄色いレシートキャンペーンを行っています。上半期はすまいるが、下半期はこうめが登録して、イオンの商品券をいただいて、文具や生活用品、みそ汁の具、インスタントコーヒー、クリスマスプレゼントなどを購入しています。



[ami]

全国大会

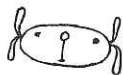
in 新潟 (予告)

日時：2015年7月17日(金)～18日(土)

場所：燕三条地場産業振興センター

(住所：新潟県三条市須頃1丁目17番地)

TEL0256-32-2311



### 編集後記

新しいコピー機が入り、印刷がきれいになりました。今回は編集後記の代わりにクリスマス会と新春餅つき大の写真を載せました。ご覧ください。イオンクレジットサービス㈱のボランティアの方々に参加していただき、プレゼントや飲み物、お菓子を沢山いただきました。

(Y)

..日替わりお弁当..

注文・配達承ります

すまいる京目弁当事業部

注文専用ダイヤル

027(350)1555



発行

社会福祉法人 プライム

〒370-0011

群馬県高崎市京目町201-2

障害福祉サービス事業所

すまいる京目内

TEL 027-381-6171

FAX 027-381-6172

E-mail

smile-kyome@major.ocn.ne.jp

発行責任者 山本美紀子

発行日 平成27年1月23日

